



大原中だより

さいたま市立大原中学校
TEL 048-831-5397
FAX 048-835-1357
第 10 号
令和5年2月1日

校 訓 「歴史を拓く」
学校教育目標 はつらつとした生徒、地域に輝く学校

メールアドレス: ohara-j@saitama-city.ed.jp ホームページ: <https://ohara-j.saitama-city.ed.jp/>

新たなチャレンジと様々な経験を ～「稚(おさ)なき時に 怠らば・・・」～

校長 岡村 洋彦

令和5年も1か月が過ぎました。暖かな春の訪れが待ち遠しい今、「行く1月」から「逃げる2月」、「去る3月」と変わっていきます。2月3日の節分の日には、今年も「感染症」を「鬼」に置き換え、豆まきをする御家庭も多いのではないのでしょうか。ちなみに追い出されたり悪者にされたりすることの多い鬼ですが、埼玉県比企郡嵐山町にある、「鬼鎮(きちん)神社」では、なんと“鬼”が神さまとしてお祀りされています。そのため節分のお祭りが執り行われる際には、「福は内、鬼は内、悪魔外」と連呼するそうです。

さて、福沢諭吉の文章に「天地日月、東西南北・・・」と始まる「天地の文」があり、1日24時間や1週間(日月火・・・)など当時の新しい習慣などを教えています。その最後の文が「稚なき時に 怠らば 老いて 悔ゆるも 甲斐なかるべし」です。最後に「稚き時に怠たらば……」と書き、「小さい時から努力しなさい」ということを主張しています。「鉄は熱いうちに・・・」と言われるように時代は移り変わっても、若い時の学びは人生の中で欠かすことはできません。その大切さを、大人たちは子どもたちに伝え続けてきています。ただ、このことに気づく時期やきっかけは一人ひとり違ってきます。学ぶことの楽しさや学べる機会の大事さに気づいた時がその時になるでしょう。

卒業・進級の春が近くなり、新年度への準備が徐々に進められると思いますが、学習のまとめはもちろん、心や体の準備も忘れてはなりません。規則正しい生活を送り、今学期を終了することが、進級・進学への準備となります。自分のよさを自覚し他者のよさや個性を受け入れること、そのために感情的ではなく、コミュニケーションをとおして相互理解をすることなど、心と体を整えておくことも大切です。

今年度の終盤を迎え、より一層学校生活が充実したものになるように、これからも教職員一同つとめてまいります。大原中の生徒には、一人ひとりが自らのテーマと向かい合い、残り少ない3学期も、新たなチャレンジと様々な経験を重ねてほしいと願っています。

